

・演題名 『不妊治療施設におけるこころのケア
～ファーストインタビューより～ 』

・名前 田中 久美子 (タナカ クミコ)

・所属 HORAC グランフロント大阪クリニック

【発表要旨】

不妊治療は、時間的にも経済的にも体力的にも大きな負担がかかり、こころのケアの必要性と重要性が認識されている。しかし、実際の活用はそんなに高くない。そこで、当院では初診から3か月以内の患者にファーストインタビューという枠組みで30分の面接を実施している。臨床心理面接の原点は、人と人が出会うところであり、そこからクライアントとセラピストの関係性が生まれ、それを土台にスタートする。ファーストインタビューも同様に①患者と臨床心理士が、出来るだけ自然に出会える機会として②不妊治療をめぐる主観的な体験の理解③どういった問題を抱えているのかを把握し、どのようなサポートが最適なのか等の判断が目的である。

ファーストインタビューで関わった患者の事例を通して、体外受精専門施設でのこころのケアがどのように実践されているか考察する。